

真の解放教育の場を築くために

85年度 学費値上策動粉碎!

此方・彼方の言葉の破壊に向かつて

現在、関西大学の法人経営側で、85年度からの学費値上げが画策されている。これが多くの学生、教職員の反対の声を黙殺して抜き打ち的に強行された80年度の3.3倍もの値上げに更に輪をかけて暴挙であることは言うべくもない。

われわれは、これまで、解放教育を標榜しつつも、その内実を問うていく中で、関西大学のナンセンス極まりない実態を、幾度となく見せつけられてきた。また、それは同時に、この日本の社会構造の一端でもあった。

われわれは、何をなすべきなのか。なぜ、学費値上げを阻止せねばならないのか。そして、それはどのような視点をもって貫徹されねばならないのか。なぜ、学費値上げを阻止せねばならないのか。そして、それはどのような視点をもって貫徹されねばならないのか。

差別的な「II部学生」生活守ろう

「学生の高負担をゆるさず、学費値上げに反対し、II部学生の生活を守りましょう」

主張するのは日本「共産党」傘下の民青同盟であるが、学費値上げが教育の再編化と差別拡大とであることが視野に無い。以てインターナショナルな構造を把握する視点をもたない。この短絡的な考えは、自分たちの生活の経済的保障のみを要求する主観的小市民性の露呈であり、また容易に小規模上げ妥協の決意に移行してしまう。差別的に差別的なものである。

学費値上げの差別性

80年度学費値上げは、学生層を約変させた。20数万人の金を工面することができず入学を諦める人間が存在する。そして、今年度の入学式ではどの年よりもスーツ姿の男子が目についたという。

被差別大衆は絶えず経済的には貧しいが実情である。差別・差別イデオロギーの蔓延するこの社会にあつて、多くの労働の場から締め出され、毎日の生活に精一杯、中には義務教育からさえ排除されている人もいる。

学費値上げは、このような被差別大衆に対して更に更に力強く大学の門を閉ざすことに他ならない。

何よりもまず、この事実を真摯に踏まえよう。

イデオロギー

この「学生生活実態調査」なるアンケートを行い、今さら何のために、断然値上げには反対に決まってる」と多くの学友の覚悟をかけただけであった。まだある。挙句の果てには、法人当局の全学説明会や法人・教職・学生三者懇談会を要求しての全学ストから体育会・文化会・応援団・女子同の一部分と結託して逃亡するは、当局が値上げの理由のひとつとして出した学館のエサに喰らいつくは体たらく。

今だからこれら悪業の総括を、民青はなし得ないままである。そして言う。この学費値上げ反対などの学生生活擁護の闘いをすすめるよ!

ふざけるんやない!

着実に推進される

帝國的な教育再編

敗戦から現在に至るまで、日帝の国内産業基盤の立て直し、韓国や東南アジア諸国を主とした経済侵略を支えるものとして、教育はその差別・選別のシステムを確立、強化して来た。今ここにさき化してきた。

とりわけ、一九四六年に設置された教育刷新委員会を前身に置き、その後教育刷新審議会を経て、五二年に改組、発足した中央教育審議会では、文部大臣の諮問機関であるこの機能性をフルに發揮して、日帝の世界戦略に呼応した教育改編の具体的な内容を細部にわたって指示し、教育そのものを国家統制の下に敷くことを着々と行っている。

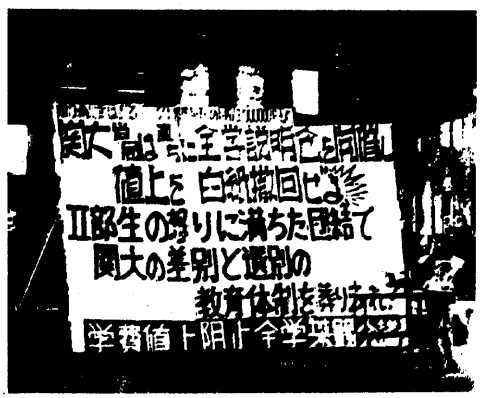
能力主義・優生思想に基づいた授業、学生の自治活動への弾圧などとともに、学費値上げは中教審路線をそのまま踏襲し、大学の帝國的な選別の第一にある。

関東大震災と朝鮮人大虐殺

一九二三年九月、関東大震災が勃発。その混乱のさなか七〇〇名もの朝鮮人が虐殺された。日本軍の軍隊に官憲として「自警団」という民衆の組織によって、この朝鮮人大虐殺を可能にした。その第一にある。

一九二三年九月、関東大震災が勃発。その混乱のさなか七〇〇名もの朝鮮人が虐殺された。日本軍の軍隊に官憲として「自警団」という民衆の組織によって、この朝鮮人大虐殺を可能にした。その第一にある。

一九二三年九月、関東大震災が勃発。その混乱のさなか七〇〇名もの朝鮮人が虐殺された。日本軍の軍隊に官憲として「自警団」という民衆の組織によって、この朝鮮人大虐殺を可能にした。その第一にある。



流れを形成する。自らの立場性。思想性を知覚して

資本の要請に応じた人材を製作することが教育であるという、資格や卒業證書を得るために大学へ進学するという小市民性の暴露された考えこそ、朝鮮戦争での大金もつげを、その後の韓国からの経済取寄を推進するイデオロギーの根幹にあり、またその過程に於いて更に肥大化していくうちに差別イデオロギーと容易に軌を一にする。

「あらゆる差別に反対する」という言葉の繰り返いは、現今の差別・抑圧に対してはほとんど無力に過ぎない。

学生春秋

くだらぬ権利の主張は、常識の押し売りは、即刻やめよう。何、そこには幾許かの主体性も、

学

その肉体的精神の奥底にまで踏みついた鎖を引き裂く力もあはしないのだから、授業中にマイクを直すなんて、うるさい。ぼくはちゃんと学費を払ってこの授業を買ったんだ。受けにはちゃんと授業を受ける権利がある。――「買った」というのは全くの誤りだ。正しくは奪ったのだ。被差別者を黙殺して、私は学生のために授業するんだぞ、それを邪魔するのだから――お前に単位授与権がなければ誰がそんな講義に出るものか。誤謬甚だしいのはお前の方だ。差別・選別の教育体系の上にあぐらをかいた小市民め、頻発する差別事件について意見交換しようと言われないか。……と、今は私のプライベートルーム、君の提起にのびるか否かはいかに私の腹ひらき、やっぱりイヤだ、断る。――差別問題から逃避するのには自分の意志の介在する余地があるとも思っている。だから。差別・差別イデオロギーに構められて

学

自衛隊が上陸訓練を実戦さながらに行うあり様だ。日本人は、今も尚、民族排外主義を克服すること。――過去の不幸な関係を水に流して」という愚弄の一言で済ませよう。2面に続く記事はこの現状に少なからず一石を投じる。

居酒屋 酔虎伝
天六地下鉄 すぐそこ
353-9246

お好み焼、お食事処 さち
天七阪急ビル1F
☎353-8603

1923年9月関東大震災下

なぜ朝鮮人は虐殺されたのか

全斗煥訪日強行さる

増々見えなくなる韓国民衆の姿、日本人の立場性

84年9月6日、全斗煥が羽田空港に降り立った。天皇ヒロヒトと会見し、「お言葉」を「賜」った。中曾根と握手した。笑顔でグラスをカチンと合わせた。「日韓共同声明」が発表された。「無事」に帰った。7億円以上の金が消えた。これらの行為のひとつひとつが、日本帝國主義の朝鮮侵略の史実を隠蔽し、多国籍企業等による経済取奪の韓国民衆の姿を隠した。

例え、全はヒロヒトに朝鮮人參を贈ったそうだが、夫人は毛筆で「平和」と上手に書いた。そう。それだけではない。勿論なにか、昨年あたりからにかに「お隣の韓国」を「美辞麗句の下」の一連の韓国チームが作り上げられた。学術・文化・風俗から、歌謡曲や料理に至るまで様々な韓国の姿が紹介された。NHKでは朝

主義の克服を全く無いものにしてしまおうのだ。韓国チームを煽るテレ・ビカメラが人間を追う時、レンズには真の韓国民衆の姿はほとんどない。祖國の民主化を掲げ、軍隊への強制入隊の末の拷問・虐殺を覚悟の上で闘う学生たちの姿が、日本資本家の過酷な搾取に拒絶の声を上げ決起した女性労働者の姿がどこにあるのか。獄中で闘う政治犯たちの姿が、反民族主義者の姿がどこにあるのか。日本人のどれだけがこの現実を真摯に捉えているのだろうか。もう

次次片づけばしから逮捕して(保護)収容は関東地方はもとより青森から鹿児島まで全国各地でも同じに知れよう。特筆すべきことは、「不逞鮮人の暴動」の差別デマ流布の張本人のひとりひとりであった内務大臣水野錬太郎、警視總監赤池漢三郎、東京衛戍司令官を代行した石光重良氏、一九一九年の三・一朝鮮独立運動を弾圧した直接の当事者であったことである。水野は朝鮮警務局長(三・一総督府警務總監)として運動が起った半年後朝鮮へ送られた。赤池は警務局長として、爆弾の洗礼を受けた。石光も憲兵司令官であった。朝鮮人民の独立の意気に燃えた決死の雄起の様が強く焼きついていくことは想像だにできない。

一九二二年八月日度重なる弾圧にも屈せず在日朝鮮人留学生たちの発表した「独立宣言文」によって切られたのである。日帝の根幹を揺がすものとして在日朝鮮人の権力との対峙は、本國と同様非常に厳しいものであった。

●吳鎮副官宛打電

九月三日

午前八時十五分 解 各地方長官宛

内務省警保局長 出 東京附近の震災を利用して、朝鮮人は各地に放火し、不逞の目的を遂行せんとし、現に東京市内において爆弾を所持し、石油を注ぎて放火するものあり。既に東京府下には一部戒厳令を施行したるが故に、各地において充分周密なる視察を加え、鮮人の行動に対しては厳密なる取締を加えられたし。

この電報を伝騎にもたせたりしは二日の午後と記憶す。当時の衆人の印象はかくの如かりしなり。事後又は他地方の人には考えも及ばざるべし。

このような「鮮人」という差別語を用いて、「朝鮮人が各所に放火した」「集団で日本人の家を襲いに来る」「あるいは「朝鮮人は井戸に毒物を投入した」などの極悪なデマが、震災下の各地に政府・警察・陸海軍・各市町村一体となった権力



▲警察・「自衛団」一体で逮捕連行される朝鮮人、技身をつきつけられている。

▶「戒厳令を一般市民に布告する」の報道写真(「大阪時事新報」)。右には竹槍を持った男が。



によって、誠にやかに流された。だが、大衆のほとんどがその虚構性を見抜くことができなかった。まじやその奇麗な差別性を看破した者は皆無であったと言っても過言ではないだろう。

一九二三年九月一日午前一時五十分、相模湾北部を震源とするマグニチュード七・九の大地震

が発生、被害は関東地方全域に及んだ。詳細はここでは火災が起り、中では東京や横浜、兵でも東京の下町は火の海と化した。

が發生、被害は関東地方全域に及んだ。詳細はここでは火災が起り、中では東京や横浜、兵でも東京の下町は火の海と化した。

日前後を期して不逞鮮人を逮捕して(保護)収容は関東地方はもとより青森から鹿児島まで全国各地でも同じに知れよう。特筆すべきことは、「不逞鮮人の暴動」の差別デマ流布の張本人のひとりひとりであった内務大臣水野錬太郎、警視總監赤池漢三郎、東京衛戍司令官を代行した石光重良氏、一九一九年の三・一朝鮮独立運動を弾圧した直接の当事者であったことである。

水野は朝鮮警務局長(三・一総督府警務總監)として運動が起った半年後朝鮮へ送られた。赤池は警務局長として、爆弾の洗礼を受けた。石光も憲兵司令官であった。朝鮮人民の独立の意気に燃えた決死の雄起の様が強く焼きついていくことは想像だにできない。

また、八月二日首相加藤友三郎病没、二六日内閣総辞職、二八日海軍大将の位置から政界入りした山本権兵衛に組閣の大命降下と続く政局不安にあつて、一日には第二次山本内閣の親任式が行われる予定であった。これに伴い摂政(現天皇ヒロヒト)は、滞在先の赤坂離宮から箱根へ避暑に行き前に皇居へ向かわねばならなかった。

この摂政の移動にあつては、権力は嚴重な警固体制を敷くのであるが、これは朝鮮人に対する弾圧と相等しい。すなわち、権力は在日朝鮮人の動向(以前から朴烈率いる黒友会などの「不逞社」では爆弾を入手する)が、定かではない。ただ、当時の状況を的確に捉え、朝鮮解放、日帝打倒の具体的な志向に基づいてテロルは意義深いことだが、を恐れ警戒していたことは、内務省が「朴烈一派の者が二百十

一九二三年九月一日午前一時五十分、相模湾北部を震源とするマグニチュード七・九の大地震

が発生、被害は関東地方全域に及んだ。詳細はここでは火災が起り、中では東京や横浜、兵でも東京の下町は火の海と化した。

が發生、被害は関東地方全域に及んだ。詳細はここでは火災が起り、中では東京や横浜、兵でも東京の下町は火の海と化した。

日前後を期して不逞鮮人を逮捕して(保護)収容は関東地方はもとより青森から鹿児島まで全国各地でも同じに知れよう。特筆すべきことは、「不逞鮮人の暴動」の差別デマ流布の張本人のひとりひとりであった内務大臣水野錬太郎、警視總監赤池漢三郎、東京衛戍司令官を代行した石光重良氏、一九一九年の三・一朝鮮独立運動を弾圧した直接の当事者であったことである。

水野は朝鮮警務局長(三・一総督府警務總監)として運動が起った半年後朝鮮へ送られた。赤池は警務局長として、爆弾の洗礼を受けた。石光も憲兵司令官であった。朝鮮人民の独立の意気に燃えた決死の雄起の様が強く焼きついていくことは想像だにできない。

また、八月二日首相加藤友三郎病没、二六日内閣総辞職、二八日海軍大将の位置から政界入りした山本権兵衛に組閣の大命降下と続く政局不安にあつて、一日には第二次山本内閣の親任式が行われる予定であった。これに伴い摂政(現天皇ヒロヒト)は、滞在先の赤坂離宮から箱根へ避暑に行き前に皇居へ向かわねばならなかった。

この摂政の移動にあつては、権力は嚴重な警固体制を敷くのであるが、これは朝鮮人に対する弾圧と相等しい。すなわち、権力は在日朝鮮人の動向(以前から朴烈率いる黒友会などの「不逞社」では爆弾を入手する)が、定かではない。ただ、当時の状況を的確に捉え、朝鮮解放、日帝打倒の具体的な志向に基づいてテロルは意義深いことだが、を恐れ警戒していたことは、内務省が「朴烈一派の者が二百十

在日朝鮮人学生と

日本人学生とのあるべき関係について

神奈川大学経済学部教授 梶村秀樹

在日朝鮮人が本名を なるといふこと

「現在の大学の中で日本人学生と在日朝鮮人学生(とりわけ二世、三世が多くなっている中)と双方にとって、最も好ましい関係とはどういふものであろうか?」というものが、編集部の方で設定されたテーマですが、その第一の必要条件是やはり、朝鮮人は朝鮮人としての、日本人も日本人としての、またそれぞれ個としての主体性が確立されていることだと思えます。それなしには、自立した真に対等な関係はほとんど成立しえませぬ。

例えば、在日朝鮮人学生にとつての本名の問題です。日本社会の民族差別のゆえに、全く残念なことです。日本の小・中学校等に在籍する朝鮮人生徒また父母にとつて、本名をなすことが本当にしたいこととなっている現実があります。大学はそれ比べて、地域社会からや離れたいるためであつて、いくらか本名を通しやすいい件があるよう思われますが、それでも決して社会一般の差別意識と全く無縁な空間だといふわけにはありません。そうした中で、大学当局が名簿などにのせる名前が本人の届出によるというのが通

名をなすのついでにさても、ある大学で、選挙の時に、自治会の活動家から朝鮮人学生に某政党への投票依頼の電話がかかってくるという事象が、朝鮮人としてきちんと問題提起すれば、受けとめようとする級友等も出てくるのでは、一般的に言えると思えます。日本人学生にとつて、在日朝鮮人の置かれては、現実には限られるか、考えていくひとつの契機となるし、その意味でそ

れが自身のために必要なことでもあります。朝鮮人学生として、積極的に日本人学生との関係を創り出すような生き方が、日本人学生の場合もまた逆が好ましいと思えます。日本人学生の中で、問題をきちんと受けとめようとする個人・グループないしサークルが生まれてくることは、今の大学では、規模は限られるかもしれないが、一般にその困難ではないように思

われます。その場合、日本人学生には、基礎的な知識の学習や、まじめの出会いを通して、だんだんと見えなかつたものが見えてくる主体的なプロセスが必要で、むしろ現実には、観念的な知識のみが肥大し、思い込みや悪感先行してかえってなまみの真実を見失つてしまふようなこともあるようですが、日本人学生にとっては、自分は何も分かつていないことを確認するところから正直に立発し、しかし正しい自立した関係をめざすという姿勢が必要だと思えます。また、主観的にはその気がなくても、はれものにさわるような「同情」の雰囲気、彼に彼女が居心地のいい安住の場所を与えるだけにとどまるといふことになるとしたら、それも問題です。在日朝鮮人学生にとっては、単なる「気楽な告発者」になることが最終的な目標ではないのです。それで、真に困難な状況の中で、互に必要人間の告発を独りで提起していける強さも身に付きません。大多数が日本人学生からなる場での意識的な教師が日本人側の問題を強調して講義をするのを聞いて、朝鮮人学生が「こんなこと分らない日本人はなんぞ黙目なんだろ」とつぶやいていたりすることがありますが、その時、彼にとつて必要ない要するに、朝鮮人学生が日本人との関係の中で主体形成をめぐらさざるを得ない現実がしばしばあるのであつて、そのためにも、独自の活動空間をもつと同時に、相互に真摯な関係形成を追求することが必要であると思

「2面から続く」理由はここにある。震災後、山本内閣は普選実施を申し、ベラルーの声を出した。無産階級は次々と権力の統制下に入つていった。民族排外主義を増強させながら、まだまだ不十分なことではあるが、筆者の論は以上である。本稿が読者の問題意識を刺激すればそれで幸いである。尚、未筆ながら次の二冊を紹介しよう。姜徳相著「関東大震災」中公新書、姜徳相編「関東大震災と朝鮮人」みすず書房。本稿とともに併読されたい。

何も分かつては いない日本人

一般に、日本人学生には、朝鮮人学生との姿は見えにくく、真の意味ではほとんど見えていないと言わざるを得ません。本

光復節特赦

在日韓国人政治犯3名釈放 孫裕炯氏が無期、康宗憲氏が20年に減刑



去る8月13日、その独裁体制の維持、延命のため「北(北朝鮮)の脅威」を煽り、無実の人間を次々に「北のスパイ」にデッチ上げている韓国全斗煥政権は、光復節特赦として詩人の金芝河(キム・ジハ)氏の釈放、減刑、政治活動の許可を発表した。その中には5人の在日韓国人政治犯が

合まれていた。これは全斗煥の訪日控えての手みやげではあるが、そこには獄中にある政治犯たちの闘いと救済団体の活動が、そして韓国民衆の闘いが大きく寄与しているのだ。特赦対象の5氏は以下の通り。

孫裕炯(ソン・ユヒョン)氏。死刑から無期懲役。81年5月「国家保安法」違反で不当逮捕。83年3月大法院で死刑確定。同年5月担当弁護士大倫基(テ・ユンギ)氏が弁護士の資格を剥奪され、今年7月韓勝憲(ハン・スホン)氏が弁護を受任するまで無権利状態が続いていた。生野区在住。

康宗憲(カン・ジョンホ)氏。無期から20年に減刑。75年「11・22母国留学生学園浸透スパイ団事件」で「国家保安法」違反で違反に問われる。金五子(キム・オジヤ)氏。懲役20年から釈放に

逆には、日本人の構成している意識的なサークルなどで、朝鮮人学生が自分をもつていふようなキー人学生が、どうして必要ならぬかと思われまふ。この場合、日本人学生が、相互に出会えずにいる朝鮮人学生を横につなぐ媒体の役割を果たさなければならぬこともあつて、お互いの主体確立のためには、双方ともまだそれを確立してはいていない過程で出会うのだから、お互いにお互いの主体確立のための媒体とありあえるような関係を意識的にめざすことが、今の大学の中で最も好ましいことなわけですが、混血等の理由により自己の意志にかかわりなく日本国籍をもつていて、朝鮮人学生もいるかと思

「2面から続く」理由はここにある。震災後、山本内閣は普選実施を申し、ベラルーの声を出した。無産階級は次々と権力の統制下に入つていった。民族排外主義を増強させながら、まだまだ不十分なことではあるが、筆者の論は以上である。本稿が読者の問題意識を刺激すればそれで幸いである。尚、未筆ながら次の二冊を紹介しよう。姜徳相著「関東大震災」中公新書、姜徳相編「関東大震災と朝鮮人」みすず書房。本稿とともに併読されたい。

「2面から続く」理由はここにある。震災後、山本内閣は普選実施を申し、ベラルーの声を出した。無産階級は次々と権力の統制下に入つていった。民族排外主義を増強させながら、まだまだ不十分なことではあるが、筆者の論は以上である。本稿が読者の問題意識を刺激すればそれで幸いである。尚、未筆ながら次の二冊を紹介しよう。姜徳相著「関東大震災」中公新書、姜徳相編「関東大震災と朝鮮人」みすず書房。本稿とともに併読されたい。

喫茶 ばらん
0354-2094
天七商店街北進

関大は「解放教育」を標榜するけれど 「統廃する」差別事件

かつ被差別者の学業の保障なし

最近、関西大学では差別事件が相次いで起つてきている。これは一方では、社会に於ける厳しい差別の現状を反映していると言え、しかし一方では、関大の差別問題に対する取り組みの不十分さを如実に表わしている。

関大は「解放教育」を基本理念とし、その教育実践を他大学にも誇つている大学である。しかし差別事件は断絶を絶たない。I部では黒人差別落書き、II部でも学生の差別発言や色々な差別落書き、I部の差別落書きは「なぐでぶらぐやチヨセン」がKUに来るの」と明確に被差別部落出身者や朝鮮人が関大で学ぶことを

否定しているのである。否定的に、関大は解放教育を標榜している。しかし、こういった形で学内で平然と差別が行なわれて、然らざるに拘わらず、それに対する具体的な方策が何ら取られていないのである。これは、先述の差別事件の内の一つをきつかけに、関大には被差別の立場にある学生を差別から守る何の保障もなければ、彼らが学内で差別を受けても、それを訴えることもできないのである。学長の諮問機関である「部落問題委員会」はともかく「人権問題委員会」ですら学生に開かれた機関としては存在していないか

「人権問題論」廃講を阻止しよう!

「人権問題論」が今年一杯で廃講されるという。現する形で開講された「人権問題論」は関大の解放教育の一環として開講され、講義レジュメにもある様に「人権の問題がもっとも鋭く集中的に現われている差別の問題」を数多く取り扱っている。「部落解放論」を除く総合コースが二年期限と言つても、そんなことは開講当初、私達学生には全く知られていなかった。しかし他のカリキュラムは根本的な位置づけからして違つていたのである。

この「人権問題論」も他の解放教育カリキュラムと同じく学生の関心によって克ち取られた。とりわけ史学部の女性問題に関する、朝鮮文化研究部の朝鮮問題に関するカリキュラム設置の強

「この差別に限らず様々な差別を広く取り扱ひ、実」が必要とされるのはここにあって解放教育の「廃講」ではなく「充実」が切に要望する。

一九七五年以降、部落問題等に関するカリキュラムを設置している大学は多いが、裏では「部落地名鑑」を買つていたり、教員の差別発言があったりという様な大学の差別の体質に表われている様に差別問題について関心する学生は少なく、被差別者が大学で安心して学べる環境を作ることに緊急の課題である。しかしこれからの当局的対応を見ていると「部落問題」をやつていけばよい。講演会をこなせばよいという考え方がありありと感じられる。そのような姿勢が最近の講演会への参加者の減退を招いているのではなからうか。少なくともその姿勢、そこから来る関大全体の雰囲気に影響されて学生一人一人の差別問題についての関心が弱まっているのは確かだ。

ウソと詭弁と茶番とで議論全くななしの自治委員会

関大II部には「自治委員会」というものがある。これは「学生大会」に次ぐ学生の決議機関といふことになっている。自治委員は各学部各学年から二人ずつ選ばれ各学部各学年おなじみの「政治」にうんざりしている者なら承知のことだろう。自治委員会もこれに同じだ。「自治委員が学生一人一人の意見を自治委員会に反映させていく」といふこと考えている者はまずいないと思うが、第一、誰が自治委員をしていくか、第二、誰が自治委員をしていくか、第三、誰が自治委員をしていくか、自治委員がそんな学生の声を反映させるべきもなからう。にも拘わらず「自分は他の学生から選ばれた代表だ」と思いついてはいる。圧倒的多数の諸君の集まりが自治委員会なのだ。彼らのほとんどはどの意見も述べず、良心の自問自答に意見を求める時でさえ、しかし票決には参加するのである。「民意」として、文化の一部役員を結託によって作られた筋書きに従つて、そればかり

一人が解放教育の講義へ、講演会へ積極的の足を運ぶ雰囲気を作り上げていくことが最も大切なことではないだろうか。最後に、学生会執行部がこれらの差別問題に一切取り組もうとしない事実とともに、「最近の相次ぐ差別事件についての見解を9月早々発表する」との当局的確約を我々が克ち取つたことを報告しておく。

例年と同じく今年も夏休み中に「リーダースキヤン」なるものが開催された。これはその名称にもあるごとく各パート・クラブの「リーダー」?そして学生課や学生主任等の当局的人間が主役で、最初には民権が執行部の「権威」?を使つて、もっともらしく「発言は拳手で」と決めてしまつたので、型にはまつた討論のパターン。みんなだんまり、当局もオプザバーだからとだんまり、不毛な討論。唯一我々の提案で差別問題について一人一人フリートークしてもらつた時以後は出席者の卒直な意見が聞けて、実り少ないリキヤンの中でも有意義だった。最初からこの形を取つていけばもっと有意義に議論を進められたろう。議論の形一つ取つても、議長を置くかどうか、発言は拳手ですか、オプザバー参加がどうか、などなど色々な枠がある。しかし真に差別をなくす意志があるのなら、それを有効に進める為に一番良い形を自分達で作りに出す努力を怠つてはならない。その意味で結果的にはあの討論に非主体的な形で参加しなかつた多数の学友、そしてオプザバー参加という自分の殻、城の中に閉じこもつてしまつて出さなかつた当局側の人達にも、一度あの討論を自分なりに把握してみてもいい。

「第一目、民権諸君は出発前から遠足気分、パスの中でギターで歌つてルンデ気分(民権)らしくてとてもよい、勝手にやつとれ!!」夕食時、案の定ビールが出た。みんさんこれがお目当てか飲んで歌つてドンチャンドンで意気投合。一時置いてウーウーグロの阿鼻叫喚。我らはこんな席からさささとおさらば教授と討論しようとなつた。しかし彼らも奴らとそれほど変わらない。やれプライベートルームだ、懇親会へ行くのだ、某教授に至つては、懸命に差別問題等について話をしたいとの要望述べ、我らを尻目に野球中継にかぶりつき。「クロマティが打つぞ!!」ときたもんだ。結局彼らは我らの要望受け入れず懇親会なる二次会へ。その後彼らが真っ赤な顔して千鳥足で帰つて来たのは言うまでもない。

第二目、討論の日。執行部の民権が勝手に「議案はこれです」と決めて来るわ、議長を買つて出て討論を型にはめようと

嗚呼、我らが

「リーキャン」仕末記

懸想文から
借金を請う手紙
果ては脅迫状までも。
何でもござれ。
万葉風、プレシオジテ
あらゆる手紙、文書の
代書いたしし
新報社主筆
詳しくは新報社地下BOXまで

「人権問題論」が今年一杯で廃講されるという。現する形で開講された「人権問題論」は関大の解放教育の一環として開講され、講義レジュメにもある様に「人権の問題がもっとも鋭く集中的に現われている差別の問題」を数多く取り扱っている。「部落解放論」を除く総合コースが二年期限と言つても、そんなことは開講当初、私達学生には全く知られていなかった。しかし他のカリキュラムは根本的な位置づけからして違つていたのである。

この「人権問題論」も他の解放教育カリキュラムと同じく学生の関心によって克ち取られた。とりわけ史学部の女性問題に関する、朝鮮文化研究部の朝鮮問題に関するカリキュラム設置の強

「この差別に限らず様々な差別を広く取り扱ひ、実」が必要とされるのはここにあって解放教育の「廃講」ではなく「充実」が切に要望する。

「第一目、民権諸君は出発前から遠足気分、パスの中でギターで歌つてルンデ気分(民権)らしくてとてもよい、勝手にやつとれ!!」夕食時、案の定ビールが出た。みんさんこれがお目当てか飲んで歌つてドンチャンドンで意気投合。一時置いてウーウーグロの阿鼻叫喚。我らはこんな席からさささとおさらば教授と討論しようとなつた。しかし彼らも奴らとそれほど変わらない。やれプライベートルームだ、懇親会へ行くのだ、某教授に至つては、懸命に差別問題等について話をしたいとの要望述べ、我らを尻目に野球中継にかぶりつき。「クロマティが打つぞ!!」ときたもんだ。結局彼らは我らの要望受け入れず懇親会なる二次会へ。その後彼らが真っ赤な顔して千鳥足で帰つて来たのは言うまでもない。

第二目、討論の日。執行部の民権が勝手に「議案はこれです」と決めて来るわ、議長を買つて出て討論を型にはめようと

「第一目、民権諸君は出発前から遠足気分、パスの中でギターで歌つてルンデ気分(民権)らしくてとてもよい、勝手にやつとれ!!」夕食時、案の定ビールが出た。みんさんこれがお目当てか飲んで歌つてドンチャンドンで意気投合。一時置いてウーウーグロの阿鼻叫喚。我らはこんな席からさささとおさらば教授と討論しようとなつた。しかし彼らも奴らとそれほど変わらない。やれプライベートルームだ、懇親会へ行くのだ、某教授に至つては、懸命に差別問題等について話をしたいとの要望述べ、我らを尻目に野球中継にかぶりつき。「クロマティが打つぞ!!」ときたもんだ。結局彼らは我らの要望受け入れず懇親会なる二次会へ。その後彼らが真っ赤な顔して千鳥足で帰つて来たのは言うまでもない。

第二目、討論の日。執行部の民権が勝手に「議案はこれです」と決めて来るわ、議長を買つて出て討論を型にはめようと





天六公開自主講座第Ⅱ期の第2回は、「障害」児教育における共生教育をめざして」というテーマで講演が行われ、講師に、本学文学部教員・岡村達雄氏を迎え、その講演で養護学校義務化の本質が明らかにされ、現在の公教育の中での「障害」児教育に対する批判がなされた。

「障害」者解放運動はまだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

「障害」者解放運動は、まだその歴史は浅く、日本に於ては人々の前に出現してまだ10数年しか経っていない。

私は、天皇についての記憶を失ったと言えるだろうか。私は象徴天皇でもなく、再び自らの奥と表皮に仮構する、あの絶頂を見いださないのであれば、

「構造」と意識とに出会う。ならば還元していく操作を試みることもなく、それは存在することができない。ただそれは、階級意識とか社会意識とか乱暴に作られた主体の総数の上に君臨するようなく、抽象存在などではなく、当然上部構造、下部構造とかいってしまうと厭きら

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

「天」は美と呼ばれても、差を握むように、何も無いのかもしれない。

天かける姫ぎみ

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

あまを捕むように、何も無いのかもしれない。

第Ⅱ期天六公開自主講座
実行委スタッフ募集!
自己破壊の希求を秘めたあなた
どうぞ地下BOX街弁論部内実行委まで

COFFEE PORT
コーヒーの嗜好センター
天七阪急ビル1F
☎358-5974



COFFEE & ACCESSOIRE
カトリーヌ10
☎ 353-3598
明石やき、いかやき
その他、一品料理
たこ半茶屋
☎ 353-7448
天六、阪急共栄スト
ア一東側となり同士

わたしたち日本人にとって

朝鮮語とは何か

我が日本語で生活する者が「朝鮮語」を学ぶという事は、そのことによつて常に我々が「日本語」を扱え返す続けることを意味する。なぜなら、既に日本語で生活している我々が、朝鮮語を学習し、「朝鮮語とは何か?」と問う時、小さな子供が言葉を覚えてゆくのと根本的に違つて、常に日本語に比べて、日本語にとつてどういふ言語なのかという点で朝鮮語を扱えることとなるからだ。日本語—それは朝鮮人にとつては正に暴力のともである。帝朝の朝鮮植民地支配当時は、銃剣を後盾に朝鮮語を踏みこじり、現在に至るまで民族差別の「イデオロギー」をこめて、空気が重い。書かれた。空気が重い。待ち合わせた店へ急いでいた。 C'est la saison de mosai.....

「雨の季節」のフレーズが頭をかすめた。心算橋駅の階段を上がりながら歌いだしてしまつた。笑つてしまつた。急ぐあまり、ヒゲを剃つてくるのを忘れてしまつた。グリーンズポールみだりな容貌になつてゐるから、目も寝起きなのでははばつた。

この辺から、「歯車」が調子はずれだしたのだ。S×M×M×は南にあるBarである。金子園義のタブローがまつたく、自然に感ぜられる所もある。ギムレットを頼んで、ひとつづつ別のモチーフ

深く浸み込ませ、多くの差別表現を生み、今だそれを含み込んだままである。おつけることによつて、日本語、その言語体系に通う在日朝鮮人の生徒には「国語」として強要されている。彼らは今も母国語—朝鮮語を専ら、今、何が隠されてゐるのかをしっかりと見極めるなら、これまで日本語で思考する限り我々の意識は日本語(差別イデオロギー)を限りなく含み込んだ)によつて規定されている。差別意識から少しも自由ではないのだ。それはどうなのか。日本語が帝朝の朝鮮植民地支配以降様々な朝鮮(人)蔑視の表現を保持つてきたように、言語は持つて来た様に、言葉は中漢字が混じつていて、変な気分になると、入った時から喋つてゐるはずのレコードが聞こえてきた。

下品な、だみ声。先にそう思った。

朝鮮語は、構造上日本語に最もよく似た言語で、感覚的・感情的表現の豊かさを特徴とする。文章漢字が混じつていて、変な気分になると、入った時から喋つてゐるはずのレコードが聞こえてきた。

尚、怒る会は朝鮮文化研究部とともに6月以來朝鮮語開講要求の署名活動を行つてゐます。読者の朝鮮語学習の意義への深い理解を願つてやみません。是非、協力を!

尚、怒る会は朝鮮文化研究部とともに6月以來朝鮮語開講要求の署名活動を行つてゐます。読者の朝鮮語学習の意義への深い理解を願つてやみません。是非、協力を!

不・精・ヒ・ゲ

record review

バビロンの妖精 / ジェーン・パーキン



セルジュ・ゲインズブルは眠たそうに歌つてゐた。

友人は、来ない。彼は音楽をやつていて、その内の一ひつこのバンドはセルジュとJ・パーキンに關係する名を持つてゐる。

彼が現れない代わり、

セルジュ・ゲインズブルは眠たそうに歌つてゐた。

友人は、来ない。彼は音楽をやつていて、その内の一ひつこのバンドはセルジュとJ・パーキンに關係する名を持つてゐる。

彼が現れない代わり、

学窓座インタビュー

「変わるものと変わらないもの」

零野 なんて今、寺山やるのかといふは、見ていただいたの観客の楽しみに残しておこうと思つてます。

別に古いから取り上げられてないし、中心になるもの、中心であるという幻想、何か一つが中心にあるという幻想みたいなものは、変わつて来たといわれまふが、表面が変わつたといつたわけでもない。

……戦後随分世の中が

零野 何でしようね、中心になるもの、中心であるという幻想、何か一つが中心にあるという幻想みたいなものは、変わつて来たといわれまふが、表面が変わつたといつたわけでもない。

……戦後随分世の中が



勢揃い、学窓座の名スタッフ、名キャストの面々

零野 観客を大衆だとは思つてない、客自体にそういうのを見せに行くのは演出家だと思ふ。僕は制作やつてるしとありえず、何人かだけ多くに見せていこうか。

ビグモン 幕言、端的に

零野 何でしようね、中心になるもの、中心であるという幻想、何か一つが中心にあるという幻想みたいなものは、変わつて来たといわれまふが、表面が変わつたといつたわけでもない。

……戦後随分世の中が

セルフサービスの安さ美味しさ

佐伯食堂(旧館地下)

皆さまの憩いの場に

喫茶 サエキ(有隣館2F)

南の島の香り

琉球料理

御妻会・サウルコンパニオンに御利用下さい

天五中崎通商店街中央

北区黒崎町五十一

973-13420

ヴィヴィッドな部屋で

香り高い珈琲を

喫茶 飛火野

天神橋7-7-12

☎357-9656

天六 学舎

古本屋

パチンコ